

「地方におけるコミュニティホスピタルと医療・介護連携」

～稲美町における医療・介護の実証的連携～

稲美町では、地域住民の健康と福祉を向上させるために、コミュニティホスピタルと医療・介護の連携が重要な役割を果たしています。コミュニティホスピタルは、地域に密着した医療機関として、住民の健康管理や予防医療を提供するだけでなく、急性期医療や慢性期医療のシームレスな対応も担っています。これにより、住民は身近な場所で必要な医療を受けることができ、安心して生活することができます。

また、稲美町の大西クリニックでは、診療所と介護事業所が連携し、患者の状態に応じた適切なケアを提供しています。例えば、退院後の在宅医療やリハビリテーション、介護サービスの提供など、患者の生活の質を向上させるための支援はもとより、看取りまでの支援が行われています。医療と介護の境界を超えた包括的なケアが実現されています。今回はこのような稲美町の取り組みについて、社会福祉法人日の出医療福祉グループ 医療法人社団奉志会 理事長の大西康文氏より、その実践と具体的な連携についてご講演いただきます。また、第Ⅱ部では、基調講演の内容を踏まえ、各方面で活躍する方々の実践報告とシンポジウムにおいて、内容を深めていきたいと思います。

□ 日 時 会場

2025 年 11 月 1 日 (土)

13:30～16:30 入室受付 13:10～

会場:商科キャンパス内教育棟Ⅲ-C216

□ 当日運営事務局

兵庫県立大学神戸商科キャンパス

産学人材育成センター

TEL078-794-6186

MAIL:sangaku1@mba.u-hyogo.ac.jp

主催:産学公人材イノベーション推進協議会
協賛:兵庫県立大学大学院社会科学部研究科
兵庫県立大学社会科学部研究科経営専門職
専攻同窓会

事前申込は、FAX もしくはメールにて
お願いします。

【お申込み・お問合せ】

兵庫県立大学神戸商科キャンパス内

産学人材育成センター TEL:078-794-6186

(電話・訪問 月・水・金・土 10:00 ～ 15:00)

FAX:078-794-6186

MAIL:sangaku1@mba.u-hyogo.ac.jp

※ご提供いただいた個人情報は、当イベント関
連の案内及び実施以外には使用しません

【プログラム】

13:30 開会 司会・進行

木下 隆志 (本学社会科学部研究科 教授)

13:40～15:00 第1部

「地方におけるコミュニティホスピタルと医療・介護連携」

大西 康文 (社会福祉連携推進法人日の出医療福祉グループ 医療法人社団奉志会 理事長)

(休憩 10 分)

15:10～16:20 第2部 シンポジウム

コーディネーター 木下 隆志 (同掲)

大西 康文 (同掲)

土屋 啓介 (社会福祉法人鶴林園 統括施設長)

加藤 美奈子 (一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団 課長)

武地 美保 (多可町国民保健八千代診療所 所長 本学社会科学部研究科 特任教授)

16:30 終了

教育棟Ⅲ - C216

アクセス: <https://www.u-hyogo.ac.jp/about/access/kobeshoka/> (⑥番)

資料ダウンロード URL (10 月 25 日以降にダウンロード可能です)

<https://mba.kngh.jp/> (省資源の取組にご協力をお願いいたします)

氏 名	所属先	TEL	E-mail

ご記入の際は、楷書体ではっきりとお書きください。

申込締切:2025 年 10 月 25 日(土) 申し込み時に定員を超え、参加できない方に限りご連絡いたします。